

「美濃加茂市放課後児童健全育成事業委託業務」

に関するサウンディング型市場調査の結果について

令和6年10月2日

美濃加茂市健康こども部こども未来課

1. 対話実施の経緯

美濃加茂市では、「美濃加茂市放課後児童健全育成事業委託業務」の委託契約が令和7年度に終了するため、令和8年度から令和12年度の業務の受け手となる事業者を公募する予定です。

子どもたちが安心して過ごせる生活の場を提供し、健全な育成を図るため、サービスの充実と質の向上が求められています。そこで、民間事業者の皆様との対話を通じて、管理運営に関する幅広い事業提案や、事業条件等についてご意見、ご提案をいただくため、本対話を実施しました。

2. 対象事業の概要

業務名	美濃加茂市放課後児童健全育成事業委託業務	
業務場所	太田小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市太田本町五丁目4番39号
	古井小学校区第1放課後児童クラブ	美濃加茂市本郷町一丁目9番8号
	古井小学校区第2放課後児童クラブ	美濃加茂市本郷町二丁目6番74号
	山之上小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市山之上町3495番地2
	蜂屋小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋11番地
	加茂野小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市加茂野町今泉1541番地
	加茂野児童館放課後児童クラブ	美濃加茂市加茂野町鷹之巣1453番地
	伊深小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市伊深町888番地2
	三和小学校放課後児童クラブ（未開設）	美濃加茂市三和町川浦2560番地
	下米田小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市下米田町西脇578番地
	山手小学校区放課後児童クラブ	美濃加茂市田島町二丁目6番6号
業務期間	令和8年4月1日から令和13年3月31日	
業務の目的	市内の小学校に就学していて、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、放課後、長期学校休業期間（春休み、夏休み、冬休み）に生活の場を提供することで、健全な育成を図ることを目的とします。	

定員と支援の単位	太田小学校区放課後児童クラブ	定員 120人	支援の単位 3単位
	古井小学校区第1放課後児童クラブ	定員 130人	支援の単位 3単位
	古井小学校区第2放課後児童クラブ	定員 40人	支援の単位 1単位
	山之上小学校区放課後児童クラブ	定員 30人	支援の単位 1単位
	蜂屋小学校区放課後児童クラブ	定員 85人	支援の単位 3単位
	加茂野小学校区放課後児童クラブ	定員 100人	支援の単位 2単位
	加茂野児童館放課後児童クラブ	定員 70人	支援の単位 1単位
	伊深小学校区放課後児童クラブ	定員 30人	支援の単位 1単位
	三和小学校放課後児童クラブ（未開設）	定員 30人	支援の単位 1単位
	下米田小学校区放課後児童クラブ	定員 90人	支援の単位 2単位
	山手小学校区放課後児童クラブ	定員 100人	支援の単位 1単位
開設日及び開設時間	<p>月曜日から金曜日</p> <p>・授業終了後から午後6時30分まで</p> <p>土曜日（山手小学校区放課後児童クラブを拠点保育施設として開設）</p> <p>・午前7時30分から午後6時30分まで</p> <p>※日曜日、祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日、夏休み前の終業式の日、夏休みの最終日の平日、当該年度の最終日の平日は開設しません。</p> <p>※特定の気象警報が発表された場合、開設時間を変更することがあります。</p>		
保育料	<p>通年（1年間） ①土曜日なし 5,000円</p> <p>②土曜日あり 6,500円</p> <p>夏休みのみ利用 ③土曜日なし 8,000円</p> <p>④土曜日あり 10,000円</p> <p>春休み・夏休み ⑤土曜日なし 10,000円</p> <p>冬休みのみ利用 ⑥土曜日あり 13,000円</p>		

*加茂野児童館放課後児童クラブは、加茂野児童館を民営化する予定があるため、業務場所から外れる可能性があります。

4. 対話の参加者

(1) 個別対話参加者 : 3社

5. 対話結果の概要

①本事業への参加意欲について	市内全域ではなくエリアの分割をできるとより参加がしやすい。
----------------	-------------------------------

<p>②現行サービスを向上 (保育内容の充実、ICTの導入による事務効率の向上、配慮が必要な児童への対応、職員の確保、職員のフォローアップ、研修等の職員のスキルアップ等) させるためのご意見・ご提案</p>	<p>○保育内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの施設を運営しているため、他施設の取り組みやプログラムの提供をすることができる。学年、人数等に応じたプログラムを用意しているので利用することができる。 <p>○ICTの導入による事務効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業独自のサイトを従業員が活用することで効率よく業務を行い、また必要事項の連絡ができる。(例：備品購入・熱中症アラート・ぬりえのダウンロード・児童対応の参考事例) ・打刻をシステムで行うことで漏れやミスをなくすことができる。 ・保護者とのやりとりもアプリで行うことができる。アンケート機能もあるので保護者からの声をピックアップできる。 ・各クラブにネットワーク環境を整えている。 <p>○配慮が必要な児童への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やることをわかりやすく見える化させ、端的に考えを伝えることで子どもたちが集中できる環境を作っている。 ・配慮が必要な児童に対して個別の相談を行い対応している。 ・配慮が必要な児童の受け入れに対しての加配職員基準を明確に設定することが必要である。 ・見守りに苦慮する場合は、保護者との面談を行い、放課後デイサービス等福祉サービスにつなげる。 <p>○職員の確保、職員のフォローアップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生のアルバイトからそのまま正規雇用につなげたというケースもある。 ・エリアに適した媒体（紙、ネット）を把握し、効果的に募集します。 ・有資格者の現場巡回により現場へのフィードバックの発信や援助をしている。現場の支援員の負担を軽減し、安心して働ける環境を整える。 ・ネットでの募集を主としているが、紹介制度を年々強化している。 ・有資格者は採用が難しいため、採用後資格取得に向けて育成をしていく。 ・夏休み等の長期休みの児童が増える時期に関しては早い段階で募集を行っている。 <p>○研修等の職員のスキルアップ</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修について研修企画のチームがある。年間スケジュールを作成することや現場からの意見を吸い上げ、課題に応じた研修を行うことができる。 ・コロナ禍では ZOOM を使って研修を行っていた。全職員を集めての全体研修も実施している。 ・経験のある教員 OB や医療的ケアの対応をする看護師が在籍しているため。配慮の必要な児童に対しての専門的な研修を実施することができる。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語についてはポケットークを用いてコミュニケーションをしている。 ・英語の講師による連絡帳の作成や書類の作成、翻訳を行っている。
<p>③おやつ提供、長期学校休業期間に昼食提供を実施することについて</p>	<p>○おやつについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大体の平均額として1日50円～60円であるが、物価高の影響で用意が大変になっている。 ・おやつの持ち込み制も検討している。アレルギー面でも安全であるが、家庭環境で持ってこれないことがあるのが懸念事項である。 ・課題は出席していない子どもに対しての対応である。持ち帰りをさせると下校中に食べてしまい、問題になったこともある。 <p>○長期休業期間の昼食提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レトルトデーを設定し、レトルト食品を持ってきてクラブで温めるということは実績がある。 ・近くの弁当屋と提携して提供した実績がある。 ・食中毒やアレルギー対応、栄養の偏り、食品の保存方法が難しいなど課題も多く実施については外部環境による部分がある。 ・費用の徴収方法は検討が必要である。 ・夏休み期間に限り導入している施設もある。注文や支払いは弁当業者と保護者間で直接のやりとりをしている。 ・衛生面や食品の保管の面が課題である。 ・冷凍の弁当はレンジでの過熱に時間を要するため、職員の手間や昼食の時間が一律にしづらいなど検討事項がある。 ・保護者アンケートを取ると必要と出るが、実際の利用は利用

	者全体の1割程度である。
④現行の保育料の設定について	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ代を含めての現在の値段設定は安い。他自治体をみると利用料6,000円～7,000円におやつ代2,000円～3,000円、合わせて10,000円を超えないくらいと思う。 ・保育料は安いと感じる。入所申込のハードルが低くなる反面、仕事がない日でも預ける申込が増加するといったことが想定される。 ・平日は高いと思わない。長期休暇は割高だと感じる。
⑤現行の開設時間について	<ul style="list-style-type: none"> ・開設時間の午前7時30分開始は早いと感じた。午前8時開始のところが多い。延長という仕組みがなく午後6時30分で終わるのは若干早いかもしれない。 ・延長がなく、標準時間のみという自治体は珍しい。延長で午後7時30分まで延長という自治体もある。 ・午後7時まで開設してほしいという声がないのかと思う。
⑥民間事業者と市の運営における役割、業務の分担について	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な児童の許可についてのプロセスが明確化されるとよい。
⑦放課後こども教室の一体的実施又は連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後こども教室での単体での運営は費用面で難しい。 ・連携が充分取れないため放課後こども教室と放課後児童クラブで事業者を分けない方がよい。 ・一事業者に一体化するのが良いと思う。
⑧想定される事業経費（内訳を含む）について	<ul style="list-style-type: none"> ・数年後の人件費高騰、物価高騰の上昇率の見込みが難しい。 ・変動に対して変更契約や別途契約、増加分を翌年度請求する方法もある。 ・加配の支援員に対して、別途加配支援員の契約を結ぶというのも1つの案である。ほかの自治体で実例がある。
⑨美濃加茂市における民設民営放課後児童クラブの可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・費用面、環境面から運営は難しい。自治体独自の補助金が必要である。
⑩その他事業参画にあたって、市に考慮してほしい事項、サービスの向上に関する事項な	<ul style="list-style-type: none"> ・加配職員は、変更契約や加配職員の部分を別途契約等の対応を検討してほしい。 ・業者間の引継ぎ期間を確保すること、その間の人件費負担を検討いただけるとありがたい。

どについて

・契約できた際には引継ぎ雇用ができないと厳しい。